

ダイハツのサポカー ラインナップ



タント



タント カスタム



ロッキー



ムーヴ



ムーヴ カスタム



ミライース



ミラトコット



ムーヴ キャンバス



キャスト



ウェイク



アトレー ワゴン



ハイゼット カーゴ



ハイゼット キャディー



ブーン



トール



ハイゼットトラック



■次世代スマートアシスト・スマートアシストIII・スマートアシストIII+の機能について、詳しくは販売会社スタッフ、もしくはWEBサイトの各車種紹介ページをご覧ください。
■車両画像は2020年3月時点のものです。ボディカラーや装備は予告なく変更することがあります。

本制度の詳細は、変更となる場合がございます。
詳しくは、販売会社・スタッフへお問合せください。

65歳以上の方を対象とした 「サポカー補助金」 がスタートします。

サポカー・サポカー-Sとは？

政府は衝突被害軽減ブレーキやペダル踏み間違い時加速抑制装置等を搭載した車に「セーフティ・サポートカー-S（サポカー-S）」の愛称をつけ、高齢運転者の交通事故防止対策の一環として、普及啓発に取り組んでいます。



セーフティ・サポートカー
【サポカー】

衝突被害軽減ブレーキを
搭載した、全ての運転者に
推奨する自動車



セーフティ・サポートカー-S
【サポカー-S】

衝突被害軽減ブレーキに加え、
ペダル踏み間違い時加速抑制装置等を搭載した、
特に高齢運転者に推奨する自動車

サポカー-S の区分 搭載される装置により、さらに3つの区分に分かれます。



ワイド 衝突被害軽減ブレーキ（対歩行者）、ペダル踏み間違い時
加速抑制装置※1、車線逸脱警報※2、先進ライト※3



ベーシック+ 衝突被害軽減ブレーキ（対車両）、
ペダル踏み間違い時加速抑制装置※1



ベーシック 低速衝突被害軽減ブレーキ（対車両）※4、
ペダル踏み間違い時加速抑制装置※1

※1：マニュアル車は除く。※2：車線維持支援装置でも可。※3：自動切替型前照灯、自動防眩型前照灯
または配光可変型前照灯をいう。※4：作動速度域が時速30km以下のもの。

サポカー補助金のご案内

サポカー補助金とは、65歳以上の高齢運転者が、安全運転サポート車の購入などをする際、新車購入で最大10万円、中古車で最大4万円、後付け安全装置搭載で最大4万円の購入補助金を交付する制度です。

		新車（リースも対象）		中古車（リースも対象）	後付け安全装置 （つくつく防止）
		登録車	軽自動車		
対象者		2020年3月31までに満65歳以上となる高齢運転者様			
適用条件		自家用自動車：補助金の交付は1人につき1台限りです。法人名義での購入は対象外となります。 事業用自動車：法人名義および個人名義での購入が補助の対象となります。尚、1事業者につき65歳以上の高齢運転者の人数を超える数の車両または後付けペダル踏み間違い急発進抑制装置の補助金の交付は受けられません。			
申請対象		2019年12月23日から		2020年3月9日から	
		新車新規登録	新車新規検査届出	新規登録/新規検査届出・名義変更	取り付け
適用条件		車両登録/届出・名義変更をした日、後付け安全装置取り付け完了日より、1年以上の間、原則として同一の者による使用（車検証上の使用者名義を変更しないこと）が必要となります。			
対象車と補助金		審査委員会の審査を経た車両・グレードが対象となります。			後付けペダル踏み間違い急発進抑制装置の搭載車が対象となります。
①	要件	衝突被害軽減ブレーキ（対歩行者）＋ペダル踏み間違い急発進抑制装置 搭載車			検知センサー有
	ダイハツ対象車	「次世代スマアシ」、「スマアシⅢ」（ハイゼットカーゴMT車除く）、「スマアシⅢt」（ハイゼットトラックAT車）搭載車、アルティス（2018年8月生産～）			※5
	補助金	10万円	7万円	4万円	4万円
②	要件	衝突被害軽減ブレーキ（対歩行者） 搭載車			検知センサー無
	ダイハツ対象車	ハイゼットカーゴMT車「スマアシⅢ」、ハイゼットトラックMT車「スマアシⅢt」搭載車、アルティス（2017年6月～2018年7月生産）、メビウス（2017年12月生産～）			—
	補助金	6万円	3万円	2万円	2万円

★予算申請総額が、予算額を超過次第、募集終了となります。

★補助金の交付には条件があります。

★制度の詳細や申請手続き等については、今後発表される予定です。

●サポカー補助金の詳細は、販売会社・スタッフまでお問合せください。※5：後付け安全装置「つくつく防止」の対象車は販売会社・スタッフまでお問合せください。

安全・安心をみんなのものに。

安全・安心を、限られた人ではなく、クルマに乗るすべての人にお届けしたい。
だからダイハツは予防安全機能「スマートアシスト」と後付け安全装置「つくつく防止」を
幅広い車種に展開できるように開発し、さらなる安全性を求めて進化させてきました。

新車に先進の安全・安心を。

スマアシ ダイハツ予防安全機能

予防安全機能や 運転支援機能を搭載した「スマートアシスト」

気づく・止まるをアシスト

衝突警報機能(対 歩行者・車両) / 衝突回避支援ブレーキ機能(対 歩行者・車両)

警報ブザー・メーター表示と緊急ブレーキで、
衝突回避や被害軽減をサポート。



飛び出さないをアシスト

誤発進抑制制御機能(前方・後方)

誤って発進した場合には、エンジン出力を抑制。
さらに衝突の危険性が高まると、ブレーキ制御が作動。



車線逸脱警報機能 走行中、ウinkerを出さずに車線からはみ出しそうな時、ブザーとメーター内表示でお知らせします。	車線逸脱抑制制御機能 車線からはみ出しそうな時、メーター内表示でお知らせ。車線内に戻すよう、ステアリング操作をアシストします。	オートハイビーム 対向車のライトなどを検知し、ハイビームとロービームを自動で切り替えます。	ADB (アダプティブドライビングビーム) ハイビームで走行中、対向車を検知すると部分的に遮光。対向車に眩しい思いをさせずに、ハイビームの視認性を確保します。	標識認識機能 (進入禁止) ステレオカメラが進入禁止の標識を検知し、ブザーとメーター内表示でお知らせします。	先行車発進お知らせ機能 信号待ちなどで前のクルマが発進したことを、ブザーとメーター内表示でお知らせします。	コーナーセンサー (前方・後方) 前後左右のセンサーが、障害物までの距離に応じて3段階の音で警告。駐車や狭い路地の運転をサポートします。
全車速追従機能付ACC (アダプティブクルーズコントロール) 前のクルマとの車間距離を保てるように、車速をコントロールします。	LKC (レーンキープコントロール) 車線の中央をキープして走れるよう、ステアリング操作をアシストします。	スマートパノラマパーキングアシスト 駐車時にカメラで白線の枠を検知。音声と画面ガイドに加えて、ステアリング操作をアシストします。	パノラマモニター 前後左右に搭載した4つのカメラで、運転席から見えないクルマ周囲の状況を確認できます。	サイドビューランプ 通常のヘッドランプに加え、ステアリングを切った方向や、ウinkerを出した方向を明るく照らす補助灯で、夜道の運転をサポートします。	BSM (ブラインドスポットモニター) 隣接する車線の死角領域を走る車を検知すると、ミラーインジケータの点滅とブザー音で後退時の安全確認をサポートします。	RCTA (リヤクロストラフィックアラート) 後方を横切る車両を検知し、ミラーインジケータの点滅とブザー音で後退時の安全確認をサポートします。

※車種やグレード、オプションなどによって搭載される機能が異なります。詳しくは販売会社スタッフ、もしくはWEBサイトの各車種紹介ページをご覧ください。

▲■スマートアシストに頼った運転は絶対に行わないでください。スマートアシストは、ドライバーの判断を補助し、事故被害や運転負担の軽減を目的としています。脳見運転やぼんやり運転などドライバーの前方不注意を防止したり、悪天候時の視界不良下での運転を支援する装置ではありません。また、あらゆる状況での衝突を回避するものではありません。運転時は常に先行車や歩行者との距離や周囲の状況、運転環境に注意して必要に応じてブレーキペダルを踏むなど距離を保ち、安全運転を心がけてください。■スマートアシストの認識性能・制御性能には限界があります。ドライバーの運転操作、急カーブ、急勾配、雨等の道路状況、および天候によっては、システムが作動しない、または作動が遅れる場合があります。■雪、濃霧、砂嵐の場合、トンネル内、夜間、日射しの状況によってはステレオカメラ、ソナーセンサーが障害物などを正常に認識できず、適切に作動しない場合があります。■作動条件下であっても、システムが作動しない場合があります。■このほか、スマートアシストについて重要な注意事項が記載されておりますので、詳しくは取扱説明書をご覧ください。■スマートアシストの詳細は販売会社スタッフにお問い合わせください。

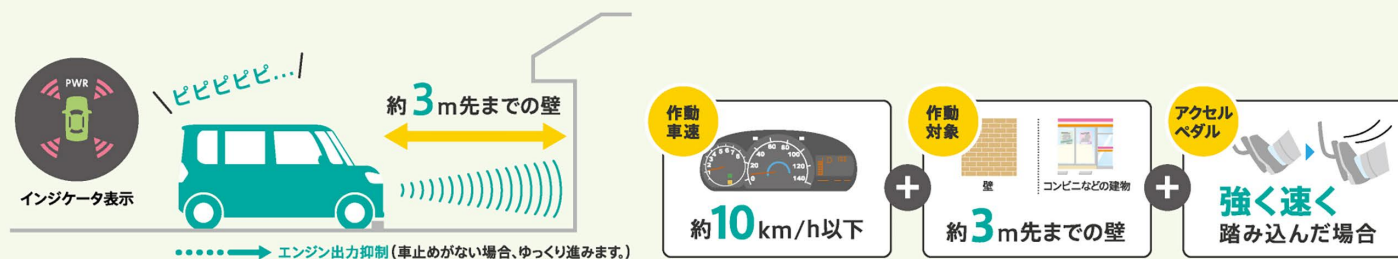
お乗りのクルマに安全・安心を。



いまお乗りのクルマに後付けできる ペダル踏み間違い時加速抑制装置「つくつく防止」

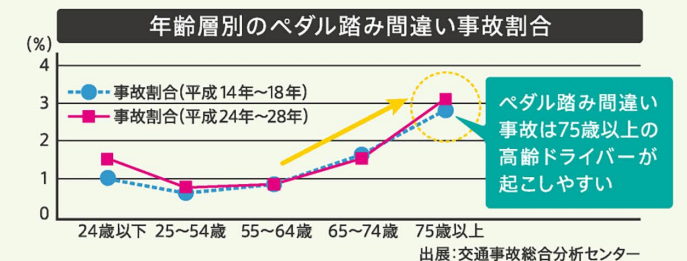
「つくつく防止」急発進抑制のしくみ

車体の前方と後方に計4カ所のソナーをつけることで目の前の障害物を検知。障害物を検知した状態であれば、アクセルを強く踏み込んでしまっても燃料カットされ、急発進を抑制し(約8秒間エンジン出力を抑えます)エンジン出力抑制とブザーで、被害軽減をサポートします。



高齢者に多発する ペダル踏み間違い事故

近年、高齢ドライバーの事故が増加傾向。高齢ドライバーに多い事故の特徴として、ペダルの踏み間違い事故があり、その増加が懸念されています。



適用車種

適用車種: タント[L375S系] (2007年12月~2013年9月)、ムーヴ[L175S系] (2006年10月~2010年12月)、ムーヴ[LA100系] (2010年12月~2012年12月)、ミラ[L275S系] (2006年12月~2013年2月)、ミラココア[L675S系] (2009年7月~2018年2月)、ミライース[LA300系] (2011年9月~2013年8月)、ムーヴコンテ[L575S系] (2008年8月~2017年1月)、タントエグゼ[L455S系] (2009年12月~2014年9月)

※適用車種のCVT車のみ装着できます。またグレード・装備等によって装着できない場合があります。ミラバンには装着できません。詳しくは販売会社スタッフにお問い合わせください。

▲■ペダル踏み間違い時加速抑制機能には限界があります。加速抑制機能に頼らず安全運転を心がけてください。加速抑制機能は衝突を回避するものではありません。発進時はシフトレバーやペダルの位置および周囲の安全を十分に確認して操作してください。機能に頼っていると、思わぬ事故につながり、重大な被害におよぼす可能性があります。■加速抑制機能は停止状態を保つものではありません。■加速抑制機能は、車速約10km/h以下で、約3m以内に障害物がある状態で、アクセルペダルを強く速く踏み込んだ場合に、エンジン出力を抑制します。■条件の違いにより、加速抑制機能が作動しないことがあります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。■衝突の可能性がなくても加速抑制機能が作動する場合があります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。■ペダル踏み間違い時加速抑制機能の詳細については、販売会社スタッフにお問い合わせください。